

基調講演

臨地実習前の総合実習(臨床検査版 OSCE)に対する 協議会の方向性

奥村伸生*

[要旨] 臨床検査技師教育においても、医学教育などにおいて制度化された客観的臨床能力試験に準じた実技試験を実施する養成校が徐々に増えてきている。そこで、協議会では「臨地実習前の総合実習(いわゆる臨床検査版 OSCE)」と称して、簡易的な客観的臨床能力試験を行うことの制度化を模索している。本協議会と日本臨床衛生検査技師会が共同で厚生労働省(以下、厚労省)に提出した「臨床検査技師教育見直し要望書」では、1 単位分を臨地実習前の総合実習にあてることとした。協議会理事会では、第 14 回学術大会の科目別科会の一つのテーマとして、学内コア実習と、それに基づく臨地実習前の総合実習の試験項目を検討することとした。また、調査研究委員会で臨地実習前の総合実習の実施状況をアンケート調査・報告をすることが決定した。今後、臨床検査技師教育においてもモデル・コア・カリキュラムの作成時期が差し迫っている。医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける臨床検査の知識・手技の達成目標を参考に、臨床検査技師教育のモデル・コア・カリキュラムのたたき台案を作成した。

[キーワード] OSCE、臨地実習前の総合実習、臨床検査版 OSCE、臨床検査技師教育見直し、コア実習

I. OSCE の定義

OSCEとは、Objective Structured Clinical Examinationの略で客観的臨床能力試験のことである。我が国の医学部、歯学部、薬学部6年制課程、獣医学部の学生教育において、この試験とComputer Based Testing; CBTの2つに合格することが、臨地実習に進むための条件となっている。医学部・歯学部は社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構、6年制薬学部ではNPO法人薬学共用試験実施センター、獣医学部ではNPO法人獣医学教

育支援機構が実施している。医学部では2020年から上記の臨地実習前に加え、6年次に受験するPost-CC OSCE(Post-Clinical Clerkship OSCE、臨床実習後 OSCE;いわゆるアドバンストオスキー)の正式実施が予定されている。

その他の医療従事者教育においては、看護師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士などの学生教育において、制度化されたOSCEに準じた客観的臨床能力試験を実施する養成校が徐々に増えてきているのが現状である。臨床検査技師教育においても実施する養成校が

* 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会理事長

信州大学学術研究院保健学系 病因・病態検査学領域 nobuoku@shinshu-u.ac.jp

増えてきている。

II. 臨地実習前の総合実習 (いわゆる臨床検査版 OSCE)とは

制度化された OSCE、とりわけ医師教育における OSCE では、模擬患者を利用することや、第三者による評価が重要である。しかし、それらを今すぐ臨床検査技師教育に採用することは無理である。第三者とは、非関係者すなわち臨床検査技師教育では、他の養成校の教員や臨地実習先の検査技師などになる。そこで、臨地実習前の総合実習(いわゆる臨床検査版 OSCE)と称して、簡易的な客観的臨床能力試験を行うことならば比較的容易に可能ではないかと考えている(理事長のたたき台案; 図 1)。すでに先進的に取り組んでいる筑波大学では、Objective Structured Laboratory Examination; OSLE と呼んでいる。

III. 厚労省提出臨床検査技師教育見直し要望書 と臨地実習前の総合実習に関する協議会の方針 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会の理事会

では、今後の臨床検査技師養成の臨地実習前には何らかの実習試験の実施の必要性を共有している。

令和元年5月に日本臨床衛生検査技師会と日本臨床検査学教育協議会が共同で厚労省に提出した「臨床検査技師教育見直し要望書」では、臨地実習12単位の内1単位分(40時間)を臨地実習前の総合実習にあて、学内で実施した臨床検査学の各種実習を通して身に着けた身だしなみや患者接遇を含む検査手技を客観的に評価することが盛り込まれた。このことは、臨地実習を引き受ける病院検査室などからも、養成校の責任として臨地実習前に検査手技の再チェックを強く求められていることの反映である。

また、令和元年5月の理事会では、第14回日本臨床検査学教育学会学術大会の科目別科会の一つのテーマとして、臨床検査技師教育のそれぞれの学内実習科目の最低限の共通項目(学内コア実習)と、それに基づく臨地実習前の総合実習の内容(実習試験項目)を検討することが決定された。

さらに、調査研究委員会では臨地実習前の総合実習の実施状況をアンケート調査して、12月の臨時総会時に報告することが決定された。この調

臨地実習前の総合実習 (臨床検査版OSCE) 【理事長たたき台案】

目的: 臨床検査学の各種実習を通して身につけた検査手技(身だしなみ、患者接遇を含む)を客観的に評価する実技試験を実施する。

実施時期: 総合臨床実習の前に行う。無理な場合には、学内実習内に行う。

実施時間と内容: 一項目・一人当たり15-30分程度で実施できる内容とする。
実施内容は、各科目別分科会で複数項目検討する。

評価者: 自施設の他の教員も加わる。

(必ずしも第三者を加えなくてよい。一人の学生を複数の評価者で評価しなくてもよい。)

評価内容と評価票: 自施設で検討・作成する。必ず評価し、記録に残す。

フィードバック: 不合格にすることを目的としない。学生に再学習を促すために必ずフィードバックをする。

図 1 臨地実習前の総合実習(理事長たたき台案)

査で実習試験時期・期間・項目などの現状の把握ができるものと期待している。

IV. 臨地実習前の総合実習の内容 (実習項目 = 試験項目) と臨床検査技師教育 モデル・コア・カリキュラムの必要性

臨床検査技師教育の教育内容は、臨床検査技師養成所指定規則(別表)・臨床検査技師養成所指導ガイドライン(別表1 教育内容と教育目標)に規定されており、講義の内容の詳細は臨床検査技師国家試験出題基準に基づいて行われている。他の医療従事者教育においてもほぼ同じであるが、医学・歯学・6年制薬学・看護教育においては文科省においてモデル・コア・カリキュラムが策定されている。また、獣医学・理学療法・作業療法・言語聴覚士・管理栄養士教育においては、それぞれ教育協議会・職能団体・関連学会などにおいてモデル・コア・カリキュラムが策定されている。

その趨勢を鑑みると、臨床検査技師教育におい

てもモデル・コア・カリキュラムの作成時期が差し迫っていると判断する。医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける臨床検査の知識の達成目標(図2)と検査手技の達成目標(図3)が参考になる。その検査手技達成目標を基に臨床検査技師教育のモデル・コア・カリキュラム(基本的検査手技の達成目標; コア実習と称す)のたたき台案を図4に示した。これら検査手技(実習・実技)の中から臨地実習前の総合実習の内容(実習試験項目)を検討することが可能になると考える。

V. 結 語

以上、理事長としては近い将来策定が必要となる臨床検査技師教育モデル・コア・カリキュラム特にモデル(学内)コア実習と、それに基づく臨地実習前の総合実習内容(実習試験項目)や評価基準の作成に関して、関係する全教員が教育学会の科目別分科会の活動を通じて議論を開始していただくことを期待する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム (H22年版) 基本的診療知識 (2) 臨床検査

到達目標:

1. 臨床検査の基準値・カットオフ値の意味が理解できる。
2. 検査の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率・予測値・尤度比)を説明できる。
3. 血液検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
4. 尿検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
5. 糞便検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
6. 生化学検査項目を列挙し、目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
7. 免疫学検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
8. 心電図検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
9. 経皮的酸素飽和度モニターを使用できる。
10. 動脈血ガス分析の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
11. 呼吸機能検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
12. 脳脊髄液検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。

図2 医学教育モデル・コア・カリキュラム 基本的診療知識(2)臨床検査

医学教育モデル・コア・カリキュラム (H22年版) 基本的臨床手技 検査手技

到達目標：

1. 尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。
2. 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。
3. 微生物学的検査（Gram染色を含む）を実施できる。
4. 妊娠反応検査を実施できる。
5. 血液型判定が実施できる。
6. 視力、視野、聴力、平衡検査を実施できる。
7. 12誘導心電図を記録できる。
8. 脳波検査を介助できる。
9. 心臓、腹部の超音波検査を介助できる。
10. エックス線撮影、CT、MRI、核医学検査、内視鏡検査を見学・介助できる。

図3 医学教育モデル・コア・カリキュラム 基本的臨床手技

臨床検査学教育モデル・コア・カリキュラム 基本的検査手技 【理事長たたき台案】

到達目標：

1. 尿蛋白・ブドウ糖・赤血球の定性検査を実施できる。
2. 尿沈渣中の赤血球・白血球・上皮細胞の鑑別ができる。
3. 末梢血塗抹標本を作成し、白血球の分類ができる。
4. グラム染色によりグラム陽性・陰性・桿菌・球菌の鑑別ができる。
5. ABO型、Rh型血液型判定が実施できる。
6. 12誘導心電図を記録できる。
7. スパイロメトリーによる呼吸機能検査ができる。
8. 断層心エコー図を描出できる。
9. Bモードで肝臓・胆嚢・胆管が描出できる。
10. 病理組織切片の薄切ができる。
11. HE染色ができる。
12. 梅毒感染症の血清学的検査ができる。
13. 自動分析法によるコレステロールの測定原理が説明できる。
14. 自動分析法によるCRPの測定原理が説明できる。

図4 臨床検査技師教育モデル・コア・カリキュラム 基本的検査手技(理事長たたき台案)